

令和3年度

認可保育所

法人名称	宗教法人安養寺
事業所名称	光徳保育園
事業所所在地	東京都江戸川区平井6丁目53番7号
事業所電話番号	03-3618-0511

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<p>1)「生命尊重」みんなで生きる中で、ひと・もの・生き物・自然、みんな大事でみんな笑顔の輪という理念の下、人的・物的な環境を考えている</p> <p>2)子どもの主体性・自分らしさを環境を通して見守る保育を心掛けている。</p> <p>3)子どもの姿から保育の環境を計画し、実施後は振り返り、記録している。</p> <p>4)以前、経験年数で経験者会議を設けていた。が、0歳から5歳までの継続した発達過程を考慮し、また、保育の歴史を含め今まで行っていた保育の見直しを子どもの姿から捉える大人の発想の転換を目的に「クリエイティブ皆議」とした職員で構成した会議をしている。</p> <p>5)子どもが自ら進んで（自主的に）遊びを選び、体験することから、考える力を育て、協力することを知り、社会の中で生きる力、生き抜く力を身につける環境を考え保育の振り返りをしている。</p>

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

- 職員のきめ細やかな情報共有とそれを基にした子どもへの対応により、子どもの成長発達を保障している

全ての職員が、子どものきめ細やかな情報を共有することが自園の目指すべき保育を考える上で重要なことと捉えている。毎月行われる職員会議での情報共有の他、各クラスのブログは、その日のうちに印刷し共有スペースに掲示すること、月別計画表や月案等はログにアップすること等、効率的に情報共有する仕組みを整えている。保育の振り返りや保育計画を立てる際にも、子どもの立場に立った目標や環境設定にすることができるようになっている。職員間での情報共有が、子ども一人ひとりのより良い成長発達を保障することにつながっている。
- 保育経験の長いベテラン層が、若い保育者を巻き込んでより良い保育へ変えようとするマインドを共有し、活気ある職員集団を作り出している

ともすると経験年数の長い職員がいると、新しい試みを拒み前例主義を踏襲するような保育になる傾向がある。しかし、本園は保育経験の長いベテラン層がむしろ若い保育者の意見を上手く引き出しながら、積極的により良い保育へ変えようとしている。特にクラスの責任者以上が出席し、週1回行われる「クリエイティブ皆議」では、現場に寄りそったスタンスを保ちながら、どう解決・改善したらよいかを話し合っている。誰かを責めたり誰かのせいにしたたりするのではなく、自分たちの保育を当事者意識をもって考えることのできる職員集団が醸成されている。
- 保育者全員が子どもの姿をとらえ自分の言葉で発信することを通して、子どもへのまなざしの共有・保護者や地域の方との共鳴を生んでいる

園のホームページには、「保育のこだわり」というタイトルで週に1~2回ブログを掲載。ある日のブログでは、カブトムシを大好きな子が、カブトムシ製作を行っている様子を「好きなことをやることは、他の人では想像がつかないぐらいの力を持っている」と、保育者なりの気づきを発信していた。乳児・幼児・調理担当など、それぞれの立場から自分の言葉で子どもの姿をとらえ、自分なりの気づきを発信している。こうした根気強い情報発信が、子どもへ向けるまなざしの共有につながり、保護者や地域の方との心地よい共鳴を生み出している。

▼さらなる改善が望まれる点

- **園の目指すべき子ども像に向けて、子ども自らが見通しを持って行動できる「物的、空間的環境」を乳児クラスから構築することに期待したい**

園の保育理念「子どもの主体性・自分らしさ」を「環境を通して見守る」保育園であるということについての職員育成の研修体制を整えている。その研修を踏まえ、保育の環境構成の大切さを職員一人ひとりが認識し、その改善に向けて日々試行錯誤を重ねているところである。今後は、「子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積む」という観点から自園の保育の「物的・空間的環境」に着目し、乳児クラスから、子ども自身の行動に見通しをもって生活するという自発性の育ちが促されるような環境づくりに期待したい。

- **子どもの好奇心、興味関心が満たされ、豊かな発想や自発性を育むさらなる環境構成の進化に期待したい**

子どもたちが満足感と充実感を味わうために、行事では、子どもが自分たちで話し合い、考え、決めたことを自ら準備して、当日を迎えるようにしている。また、0・1歳から遊びたい玩具を自ら取り出せるようにしたり、2歳では、自分の衣服が取り出せるように引き出しの位置を工夫したり、環境への配慮が見られる。幼児クラスでも、子どもたちの自主性と主体的な行動を促すために、子どもの好奇心や興味関心にに基づき、自ら選びさらに遊びが発展するような環境（玩具や家具の内容、種類・位置等）構成の工夫にさらに期待したい。

- **職員間のすぐれた子ども理解の共有を生かして、異年齢の子どもたちの自然な関わりを創出する機会をさらに工夫してほしい**

「子どもの姿から」という姿勢を重んじる当園では、子どもの姿に関する話し合いが行われ、チームを越えてすべての保育者が子どもを連続性の中でしっかりととらえることができている。このすぐれた子ども理解の共有の下、異年齢の子どもたちの関わりを機会をさらに工夫してほしい。園舎の構造から自然には触れ合いにくいケースもあるかもしれないが、現在積極的に行われている各クラスの保育のドキュメント・発信からは、そうした不便さを克服して余りあるポテンシャルを感じた。これからの異年齢児の交流のさらなる発展に期待したい。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ **子どもの姿をしっかりと見ることをすべての保育者が徹底し、園の理念を実現している**

「子どもの主体性・自分らしさ」を環境を通して見守るという園の理念の実現のために当園が重視しているのが「子どもの姿から」保育を計画する、ということだが、その姿勢のすぐれた実践が当園がすべての子に対して行っているエピソードシートでの記録だ。ここでは、ひとつのシーンについて、保育者が子どもの視点と、大人の視点の両面から記述し、それを保育者全員が共有し改めてその子を見、また保育の環境を構成していくという。この積み重ねが生むのは、偏りのない子ども理解と子ども観の研ぎ澄まし、地道に積み上げる、丁寧な理念の実現である。

★ **職員同士が話し合うことによってワンチームとなり、保育の質の向上に努めている**

保育をよくするために、保育者が一人で考えるのではなく、仲間のメンバーと頻りに話し合うことを大切にしている点が、高く評価できる。実際に月1回行われるクリエイティブ皆議では、「子どもへの声かけ」や「新人育成」など、保育の質に直結する問題について話し合いが行われていた。乳児クラス的环境や幼児クラス的环境についても、職員同士で意見を出し合い、話し合いながら進めてきている。上層部の指示や命令で動くのではなく、職員同士が主体的に日々の保育について検討し合っているため、柔軟で質の高い保育が実現されている。

★ **子どもの姿を科学的かつ複眼的にとらえながら、一人ひとりを大切に保育をしている**

当園が徹底している「子どもの姿から」という姿勢。それを可能にし支えているのが、当園が臨床心理士の協力も仰ぎながら行っている動画を用いたカンファレンスだ。ここでは、子どもの姿を記録した動画をまず全員で見、大人の思い込みや偏りを排し、子どもの姿そのものをキッチリととらえることから始める。科学的かつ客観的に、そして多くの保育者の目で複眼的に子どもの姿をとらえ

ようという工夫だ。そこから保育者が意見を出し合い、議論を起点に環境構成や遊び、関わり方を工夫していくという。まさしく子ども一人ひとりの発達に応じた保育である。

利用者調査結果

調査概要

- **調査対象**：調査開始時点での本園の利用世帯110世帯（138名）を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。
- **調査方法**：アンケート方式
調査項目は共通評価項目に準拠した。回答は、弊社オリジナルWEBベース方式（パソコン・携帯・スマホ）で行いWEB回答できない保護者には紙ベースの回答を、園で回収・弊社宛てに郵送してもらい集計に加えた。
- 利用者総数：138人
- 利用者家族総数（世帯）：110世帯
- 共通評価項目による調査対象者数：110人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数：87人
- 利用者家族総数に対する回答者割合（%）：79.1%
- 調査項目：[共通評価項目](#)

1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	はい 97%			
□どちらともいえない：2% □いいえ：1% □無回答・非該当：0%				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	はい 95%			
□どちらともいえない：3% □いいえ：1% □無回答・非該当：0%				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	はい 91%			
□どちらともいえない：7% □いいえ：2% □無回答・非該当：0%				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	はい 74%	どちらともいえない 21%		
□いいえ：6% □無回答・非該当：0%				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	はい 56%	どちらともいえない 14%	いいえ 13%	無回答・非該当 17%
6. 安全対策が十分取られていると思うか	はい 67%	どちらともいえない 28%		
□いいえ：6% □無回答・非該当：0%				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	はい 70%	どちらともいえない 18%		
□いいえ：2% □無回答・非該当：9%				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	はい 87%			
□どちらともいえない：9% □いいえ：3% □無回答・非該当：0%				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	はい 78%	どちらともいえない 20%		
□いいえ：2% □無回答・非該当：0%				
10. 職員の接遇・態度は適切か	はい 89%			
□どちらともいえない：9% □いいえ：2% □無回答・非該当：0%				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	はい 84%			
□どちらともいえない：10% □いいえ：3% □無回答・非該当：2%				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	はい 72%	どちらともいえない 17%		
□いいえ：1% □無回答・非該当：9%				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	はい 91%			
□どちらともいえない：7% □いいえ：2% □無回答・非該当：0%				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	はい 77%	どちらともいえない 15%		
□いいえ：1% □無回答・非該当：7%				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	はい 84%	どちらともいえない 11%		
□いいえ：5% □無回答・非該当：0%				
16. 利用者の不満や要望は対応されている	はい 80%	どちらともいえない 11%		

か	□いいえ：1% □無回答・非該当：7%		
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	はい 56%	どちらともいえない 38%	
	□いいえ：2% □無回答・非該当：3%		